

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ルツの
ラブストーリー



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: Janie Forest

かいさくしゃ
改作者: Lyn Doerksen

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki
監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、
きよか
許可されています。



みなさん、ちょっと、そうぞうしてみてください。もし、みなさんが、ひいおじ
いさん、ひいおばあさん、そのまたおじいさん、おばあさん、そしてもつともつ
まえ い かぞく ひと あ
と前に生きていた家族のすべての人に会ったとしたら、みなさんはきっとびっく
かぞく むかし ひと ひと
りするでしょうね。「わたしの家族のずっと昔の人たちは、こんな人たちだっ

たんだなあ。」って。聖書には、人としてのイエスさまの先祖
せいしょ ひと せんぞ
ひとり ひと

の1人にルツという人がいます。ルツは、そのむかし、ほん
かみ し ぞう れいはい
とうの神さまを知らないで、ぐう像を礼拝していた

じん
モアブ人でした。



このルツのお話^{はなし}はね、サムソンが生きていた時代^いのあとにはじまるのですよ。^{じだい}

そのころ、神さまの民^{かみ}イスラエルの人々は、神さまからすっかりはなれていまし^{たみ}^{ひとびと}^{かみ}

たので、神^{かみ}を信じること^{しん}も、したがうこと^ちもやめてしまっていました。さて、そ

のイスラエルの地^ちに、ひどいききん^{ききん}がやってきたのです。みなさん、ききんって

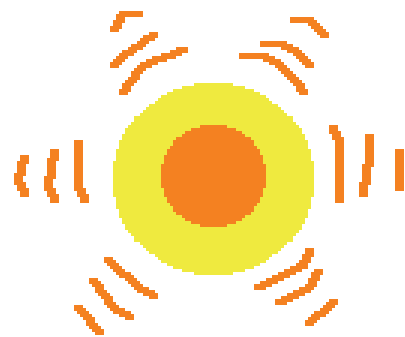
何^{なに}でしょう。知^しっていますか。そう、そのとおりです。

ムギやトウモロコシ^{むぎ}などのこくもつや、くだものなど

何^{なに}ひとつ食べる^たものが育^{そだ}たないことですね。だからき

きんになると、動物^{どうぶつ}も、人間^{にんげん}たちも食べるものがなく

おなかがすいて死^しんでしまったのです。



そのころ、ベツレヘムにエリメレクという人がいました。かれもまた、食べる
ものがありません。そこで、おくさんと2人のむすこをつれ、ベツレヘムをは
なれることにしました。食べるものをさがし求めて、かれらはモアブという所
にたどりつきましたよ。その人々は、ほんとうの神ではなく、
ぐう像を礼拝していました。



エリメレクと、
かれのおくさんや

むすこたちは、ここモアブに住みましたが、そこでは、
かれらは幸^{しあわ}せにくらすことはでき^{かな}ませんでした。悲^ししいことに、
エリメレクが亡^なくなり、つづいて2人のむすこも死^{ふたり}んでしまったのです。



エリメレクのおくさんナオミは、2人のむすこたちのおくさん、ルツとオルパ
といっしょに、1人モアブに残^{ひとり}されてしまいました。亡^{のこ}くなったむすこたち
のおくさん、ルツとオルパはモアブの^{ひと}人でしたよ。



おつと な いま しゅ
夫も亡くなり、ナオミは今ひとりぼっちです。そのときナオミは、主がかれの
こくみん こ ひとびと た もの あた はなし
国民のところ、イスラエルに来られ、人々に食べ物を与えられているという話

き じょ
を聞きました。そこで、かの女は、ふるさとイスラエルにもど
き ふたり わか
ろうと決めたのです。でも、2人のまだ若いルツやオルパは
いったいどうしたらいいのでしょうか。ナオミは、かれらにこ

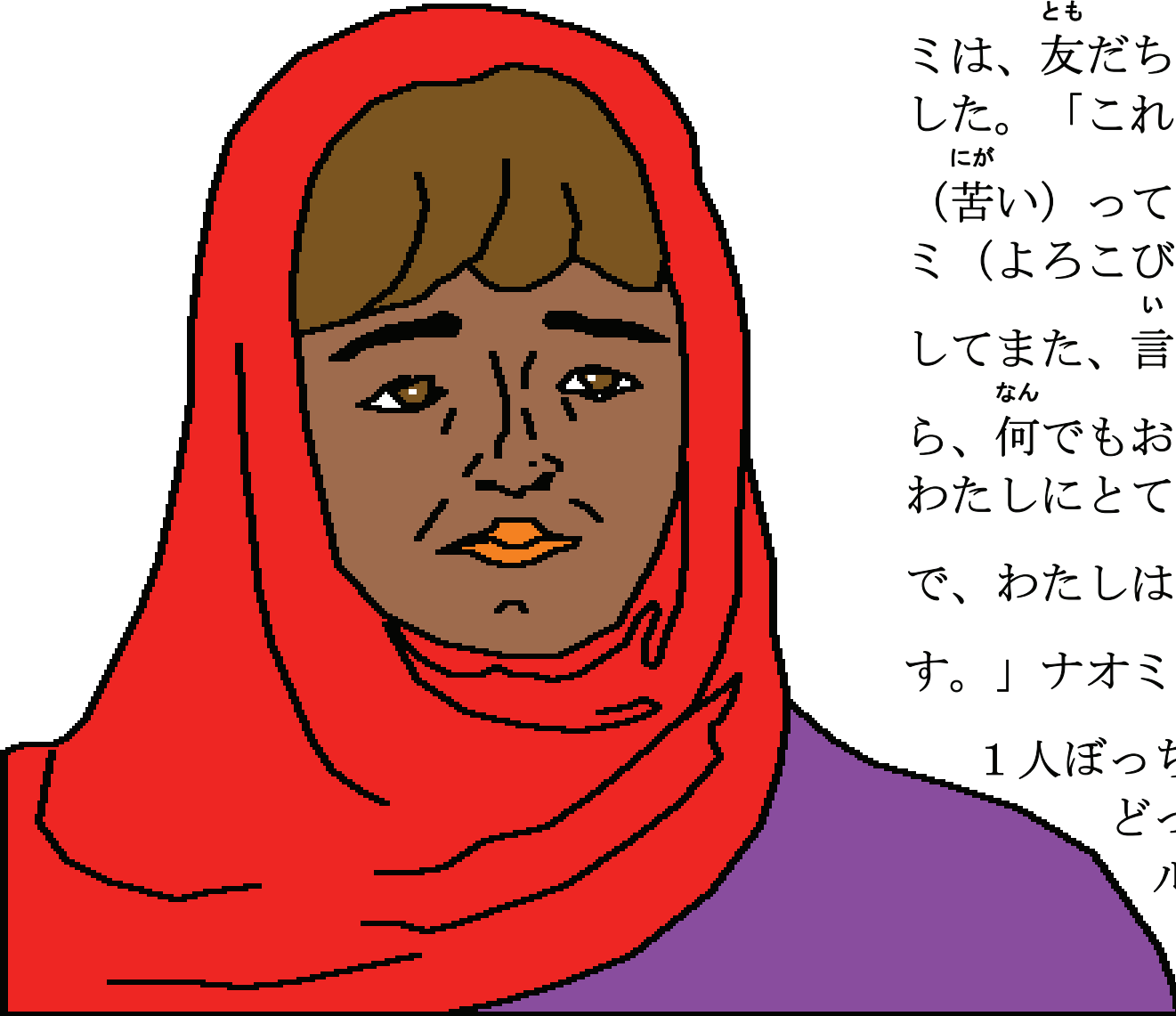
い
う言いました。「ルツ、
オルパ、わたしはイスラ
エルにもどります。
でもあなたたちはま
わか
だ若いでしょう。
だから、モアブに
のこ
残って、もうい
けっこん
ちど結婚してし
あわせになって
くださいね。」





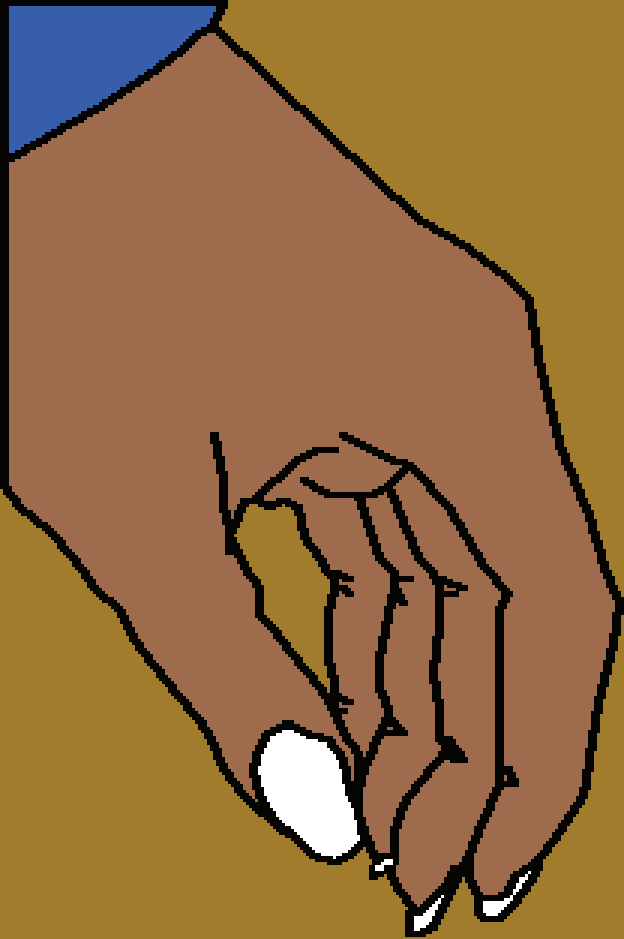
そこで、オルパは自分のお父さんじぶん とうと
お母さんの家にもどっていきかあ いえました。でもね、ルツは
どうしたでしょう。「いいえ、
わたしは、父や母のところにはちち はは
もどりません。あなたは、
わたしの亡くなった夫のお母な おっと かあ
さんです。だから、今はわたし
のお母さんです。どうぞ
いつまでもあなたについて行かい
せてください。」心やさしいこころ
ルツは、ナオミにこのように
言って、いっしょに生きていくい
ことをやくそくしました。



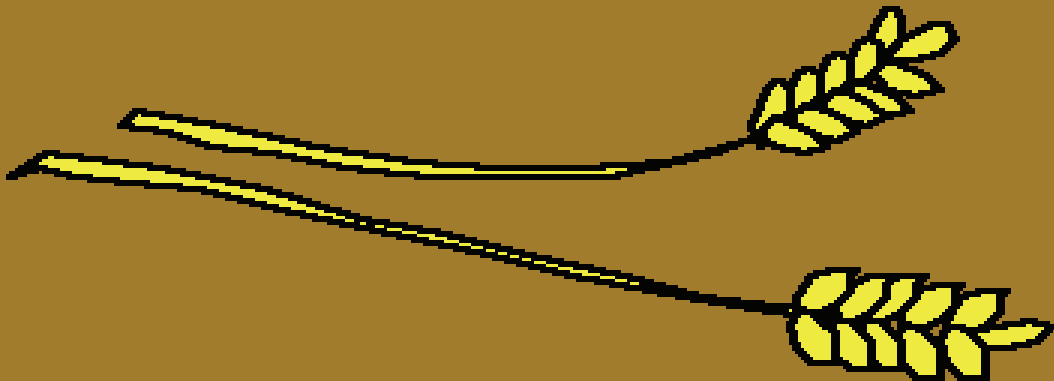


とも
ナオミのむかしの友だちはみんな、
じょ
かの女がベツレヘムにもどってきた
ので、おおよろこび。けれどもナオ
とも
ミは、友だちにこのようにたのみま
した。「これからは、わたしをマラ
にが よ
(苦い) って呼んでください。ナオ
ミ (よろこび) のかわりにね。」そ
い
してまた、言いました。「なぜな
なん しゅ かみ
ら、何でもおできなる主なる神が、
わたしにととてもきびしくされたの
くる
で、わたしはひどく苦しんだからで
す。」ナオミは何もかも失って、
なに うしな
じぶん
1人ぼっちで自分のふるさとにも
どってきたのです。—ただ
ルツだけは いっしょで
したけれどね。





く ぞう
ここイスラエルへ来るまえ、ルツは、ぐう像を
れいはい ひとひと
礼拝していました。モアブのほとんどの人々がそ
いま
のようにしていましたがね。けれども今、イス
い かみ
ラエルの生きていらっしゃるほんとうの神さまを
れいはい
礼拝するようになりました。ルツはいっしょうけ
はたら
んめい働きました。ナオミがじゅうぶんにごは
た
んを食べることができるようにね。ルツは、まい
ばたけ で い か い しごと
にち畑へ出かけて行き、刈り入れの仕事をして
ひと ある か と のこ
いる人のあとについて歩き、刈り取ったあとの残り
りものを、ひろいあつめました。





はたけ ぬし ひとり

畑のもち主の1人にボアズとい
ひと

う人がいました。かれは、ルツが
じぶん な おっと

自分の亡くなってしまった夫の
かあ

お母さんにどんなにやさしくして
き

あげているかを、聞きました。あ
あ

るとき、ボアズはルツに会い、か
じよ たす おも

の女を助けてあげたいと思いまし
か い しごと

たよ。そこで、刈り入れの仕事を
ひと い

している人たちに言いました。

「ムギをぜんぶ刈り取ってしまわ
すこ のこ

ないで、ほんの少しだけ残してお
いてください。」ボアズは、この

やさしいルツに会って、だんだん
あ

好きになっていきました。

好きになっていきました。





ルツは、ナオミにボアズ
しんせつ
がどんなに親切にしてく
はな
ださっているか話します
しゅうとめ
と、お姑さんのナオミ
かみ
は、神さまをほめたたえ
い
てこう言いました。「ル
ひと
ツ、その人ボアズはね、
しん
わたしたちの親せきです
いちぞく
よ。わたしたちの一族の
おとこ ひと ひとり
男の人の1人なのす。」





とき けっこん
時がたつにつれて、ボアズはルツと結婚して、

じよ とち
ナオミもかの女の土地も、めんどろをみて

おも
いきたいと思うようになり

しん
ました。でもね、ナオミの親せ

なか
きの中に、ボアズより

ちか しん おとこ
もっと近い親せきの男の

ひと
人がいました。そして、

ひと なん さき
その人がまず、何でも先にえらぶことができるのです。

ひと い とち
その人はこう言いました。「ナオミの土地はほしいな。

でもルツは、おくさんにしたくないよ。」けれどもそ

ほう ひと う と
のころの法りつでは、その人は1つのものだけを受け取り、

ひと う と
もう1つのものを受け取らないということは、できませ

ひと じぶん けんり
んでした。そこで、その人はボアズに自分の権利をゆず
ることにしました。



じだい その時代、イスラエルの人々は話し合いがうまくいったとき、今のようにあく手
ひとびと はな あ ひとひと はな あ ひとひと はな あ ひとひと はな あ ひとひと はな あ ひとひと はな あ
をしなかつたのですよ。では、どうするのでしょうか。ボアズはみんなの前で、
じぶん ぬ おとこ ひと まえ
自分のくつを脱いでもうひとりの男の人の前におきました。これで、
はな あ
話し合いがうまくいったということなのです。こうして、
いま
ルツはボアズのおくさんになりました。今、
かぞく
ルツとナオミは、ボアズの家族なのです。





ボアズとルツは、かれらの初めはじの
むすこをオベドと呼びました。
じつは、オベドはダビデのおじい
さんなのです。

ダビデはイスラエルのりっぱな王おう
さまになりましたよ。



みなさん、ここでもっともっとすばらしいお話をしまししょうか。ルツとボアズ
の赤ちゃんオベドは、主イエス キリストの先祖だったのです。王の王であり、
この世の救い主であるイエスさまは、じつはこのダビデの家から生まれられたの
ですね。



ルツの ラブストーリー

かみ み せいしょ する
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

き
ルツ記

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っています。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとて愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらしています。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

